

SEMBA SHARED STREET 2026

イケフェス連携

～車道を活用する社会実験～

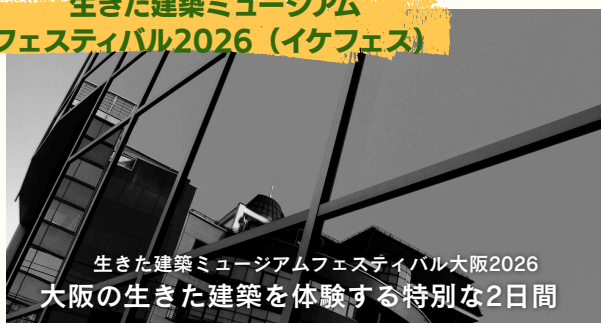
10月24日（土）25日（日）

第2回目 11月28日（土）29日（日）
安土町通3丁目開催

ウィーン マリア・hilfアー通り
撮影：山口准教授（京都大学）

船場のまちづくりを地域の皆様と一緒に進めていくため、多様な道路空間の利活用のあり方を、大阪市建設局と共に社会実験を通して検討しています。今年度は、ほこみち制度でのみなし歩道の可能性及び警備の無人化などの検証を進めて参ります。将来、船場の道路を地域や沿道が主体的に活用していくため、歩車共存で歩いて楽しいウォーカブルな社会実験を続けています。

生きた建築ミュージアム フェスティバル2026（イケフェス）



生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2026
大阪の生きた建築を体験する特別な2日間

建築漫画ブース



建築に関連した漫画、雑誌を、子どもから
大人まで幅広い年齢層が楽しめる空間♪

カフェスペース



道路空間で楽しむ贅沢なカフェタイム

DJブース



時間ごとにジャンルの異なる音楽が
流れ、思わず身体を動かしたくなる

概要

開催日時 2026年10月24日（土）～25日（日）
10：00 ▶ 17：00

場所 大阪府中央区淡路町4丁目道路地先
（アーバンネット淀屋橋・オービック間）

アクセス

徒歩
約5分
大阪メトロ
淀屋橋駅・本町駅



お問い合わせ

船場シェアードストリート2026社会実験

✉ sembatown@sembaclub.com

主催：船場まちづくり検討会・大阪市建設局

協力：NTT都市開発（株）、鹿島建設（株）、（株）Andeco、TOA（株）、鳥取大学、船場連合振興町会、愛日連合振興町会

オープンエア空間やストリートレベルでの交流が新たな価値を生み出す

CBD

CCD

中心業務地区から ▶ 都心共創地区へ

Central Business District, CBD / Central Co-creative District, CCD

めざすべき都心像「CCD船場」

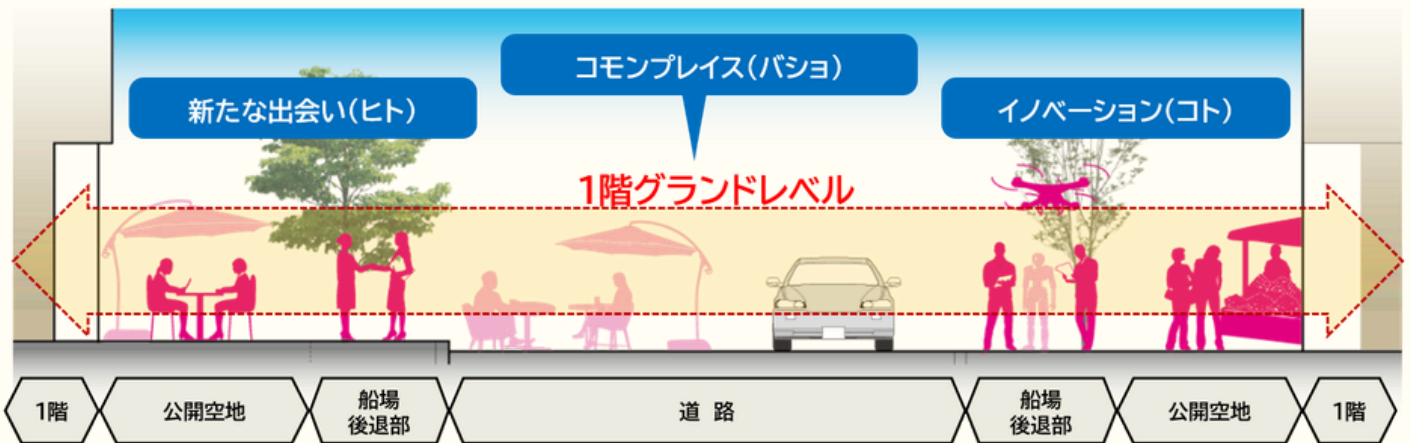
CCD～Central Co-creative District～とは、異なる目的を持って船場に集まった人々が、横断的にコミュニケーションすることで、これまでになかった活動や価値が生まれ、その「化学反応」を起こす都市を目指す考え方である。長い歴史の中で蓄積されてきた企業や商業、建築、文化、そして働く人々という船場の強みの上に、昨今増えてきた「住む人」「訪れる人」「起業する人」「活動する人」といった新しい主体を重ねていく。

グランドレベル・コモンプレイスを使いこなす

1 コモンプレイスを「やってみよう」を受け入れる実験の場に

2 豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる場に

3 思いがけない出会い・交流の場に

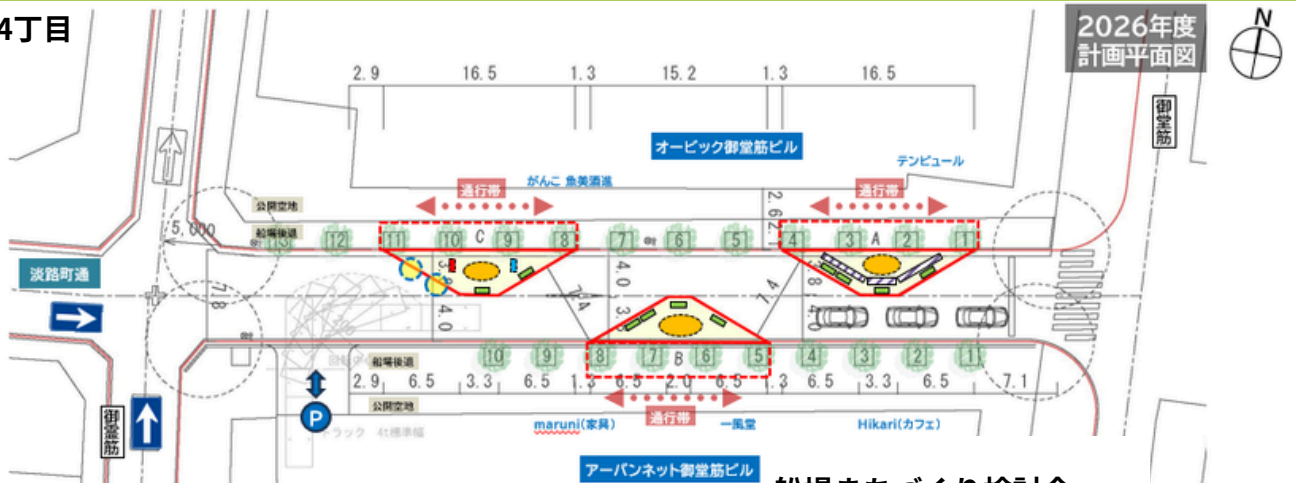


多様なヒト・リソースを引き寄せ、パブリックライフを楽しめるまちに

2026年度検証項目

- ・警備の簡易（無人化）
- ・ほこみち制度での（みなし）歩道の可能性

淡路町4丁目



2025年度



船場シェアドストリート 2025

●車両速度抑制を図るクランク・狭さくを取り入れた歩車共存のシェアドストリート社会実験

船場まちづくり検討会

民間	● 船場倶楽部 ● 独立行政法人都市再生機構 西日本支社 ● 大阪商工会議所
行政 (大阪市)	● 計画調整局地域開発担当 ● 経済戦略局観光施策担当 ● 建設局道路課及び道路空間再編担当 ● 都市整備局まちなみ環境担当 ● 中央区役所まち魅力推進担当
専門 人材等	● 大阪府立大学研究推進機構 橋爪教授（座長） ● 近畿大学建築学部建築学科 高岡教授 ● 京都大学大学院 工学研究科 山口准教授 ● 大阪府立大学生命環境科学研究科 武田教授 ● 公益財団法人大阪産業局メビック 堂野所長

